

小川鼎三 きんざう 解剖學・醫史學者、醫學博士。明治二十四年四月十日大分縣生れ。昭和五十九年四月二十九日歿（九〇一益）。大正十五年東京帝國大學醫學部卒。東北帝大助教授を経て昭和十二年アメリカに留學。十九年東京帝大教授、二十六年腦解剖學研究会より日本學士院賞受賞、二十五年日本醫史學會理事長、二十八年順天堂大學教授。日本學士院會員。

著書『医学者の手帳』（公著、昭和二十六年七月二十日學生社）『科學隨筆全集』（）、『解体新書―蘭字をいこく人々』（昭和四十二年六月二十五日中央公論社）『中公新書』（）、『伊東玄朴―伊東玄朴歿後百年誌念』（公著、昭和四十六年二月二十日印刷）、『佐藤泰然伝』（昭和四十七年四月十日順天堂史編纂委員会）、『松本順貞伝・長子傳斎伝』（酒井シヅ共校注、昭和五十五年九月十日平凡社）『東洋文庫』一等。

